

止まり木



努力は必ず成長に！



本日実施した文化発表会。まさに芸術の秋にふさわしい1日になりました。午前中の合唱コンクールは体育館が建て替え中のため、鶴見区民ホールで実施しました。本番で初めて使う場所なのでどうなるか心配しましたが、堂々とまた、スムーズに行動している姿はさすが横中生でした。開会の時にこんな話をしました。

『合唱とは字の通り、唱を合わせるということで、カラオケボックスなどで自分の好きなように好きな歌を歌うのとはわけが違います。合唱では、歌詞を合わせ、メロディーを合わせるのはもちろんのこと、心を合わせることが大切になります。そして、コンクールですのでどうしても賞をとれるクラスと取れないクラスが出てきます。しかし、この**賞を取るというのは目標であって目的ではありません。行事は、成長がともなってこそ価値**があります。

いくら賞を取っても、成長がともなっていなければ、合唱コンクールは、価値のない行事になってしまいます。では、合唱コンクールで得られる成長とは、いったい何なのでしょう。それは、**自分やクラスの絆を表現する喜びを感じる**ことや**努力すれば、必ず上達できると実感すること**だと思います。一人一人が、伝えたい内容を心にえがき、様々なことを頭に思い浮かべ表現することで、幸せを感じられるのが合唱コンクールです。**「努力は、必ず成長へとつながる」**ということを一人一人が実感できるような合唱コンクールを目指し、この素晴らしいホールにみんなの素晴らしいハーモニーが響き渡ることを期待しています。』と。

その通りの素晴らしい合唱ばかりでした。そんな中で金賞に輝いた1年3組、2年2組、3年3組の皆さん、本当におめでとうございます。そして、最優秀賞にか輝いた3年3組、本当に素晴らしかったです。学年合唱、音楽部の演奏、本当にあっという間に時間が過ぎました。閉会式の時には「歌う」の語源について話しました。所説はありますが、「歌う」の語源は「訴える」だそうです。つまり「訴える」は、古い言葉では「うった心」と言い、その音が変わって「歌う」となったそうです。だから人の心に訴えるというように、「歌う」とは、自分の気持ちを声に出して伝えるという意味があるのです。みんなの歌声は、まさにその歌声に乗せて、聞いている多くの人の心を揺さぶる。素晴らしいものでした。

もう一つ、合唱に関した名言を一つ紹介しました。それは、「『あなたはうまい』と言われるよりは、まずは『あなたの隣は歌いやすい』と言われるようになろう。」です。これは学級や学年、部活動、そして学校など、集団生活をする上でもとても大切なことだと思います。だから明日からは**「あなたの隣は過ごしやすい」**。といえる関係を広げていってほしいと思います。そういう関係が広がるのがいつも言っている「止まり木のような学校」を創ることにつながります。

午後からの展示見学では、日頃の学習の成果や部活動での成果を見学することができました。力作が多く、丁寧に仕上がった作品からみんなが、真剣にまた、本気で作品に向き合った様子がよくわかりました。そしてもう一つ感動したことがあります。それは、みんなの見学態度です。みんなが作品を大切に扱いながら素直に楽しんでいる姿に校長先生は、感動しました。

さあ、これからも人を思いやる優しい心、互いを認める心をもって、みんなで素晴らしい、「横中ハーモニー」を奏でていってくださることを期待しています。